

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 02 商工業振興費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	2503000000					
					うち復活額	一般財源	所属課名	商工課						
		0	2,000	1,150	1,150	0	0	内線番号						
大 中 小 細	事業 事業 事業 事業	060 都市エリア産学官連携促進事業		00 00 00		00		実 施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
		財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源	章		『産業』がいきいき		
		0		0	0	0	0	1,150	節	地域の活力を生み出す産業のまちづ	0			
		0		0	0	0	0	1,150	細節	工業の振興	0			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
【事業概要】地域の主体性のもと、大学等の「知恵」を活用して新技術シーズを生み出し、新規事業の創出、研究開発型の地域産業の育成を図る。平成18年4月、鳥取県が提案した「染色体工学技術による生活習慣病予防食品評価システムの構築と食品等の開発」が文部科学省に採択され、平成18年6月から事業開始。当該事業は、食品製造業が集積している米子・境港エリアの特性を生かした産学官共同研究。【参画機関】鳥取大学、県産業技術センター、民間企業10社(内、市内企業4社)【事業機関】H18～20年度					区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額
【必要性】1. 鳥取大学の先端技術と地元企業等が有する水産バイオマスの独自技術が連携し、新産業を創出するものであり、本市への大きな経済効果と健康長寿社会の発展に大きく貢献すると見込まれる。2. 国費は地域資金の額によって決定されるマッチングファンド形式であため、地域資金の確保が全体事業費を担保する必須条件になっている。					19	負担金補助及び交付	1,150							
2. 根拠法令														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
1. ヒト染色体ベクターを利用した機能性評価技術の開発研究の推進														
2. 動物・ヒト臨床による機能性評価法の開発研究の推進														
3. 水産資源からの機能性食品素材・食品開発の推進														
4. マーケティング・技術開発動向調査による事業化検討の推進														
5. シンポジウム、成果普及発表会の実施による啓蒙普及														
6. 鳥取大学と共同研究を行っている地元企業への研究開発支援														
7. 科学技術コネクティヴによる研究成果の推進と研究成果の事業化に向けての活動推進														
予算要求額 交流事業・共同研究事業実施負担 1,150千円					6. 財源の説明									
					【財源内訳】									
					・交流事業(シンポジウム、成果普及発表会) 625千円									
					・共同研究事業支援 525千円									
					計 1,150千円									
					【事務事業評価】									
					3年間にわたる事業計画を推進することにより、事業全体としての成果を出すことが可能になるため、継続実施する必要がある。									
目的別 性質別														